

1. 17 防災未来賞 ぼうさい甲子園 募集要項

■ 開催趣旨

阪神・淡路大震災の経験を通して学んだ自然災害の脅威や生命の尊さ、ともに生きることの大切さを考える「ぼうさい教育」を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくる一助とします。児童・生徒・学生が学校や地域において主体的に取り組む、「ぼうさい教育」に関する先進的な活動を顕彰します。

■ 対象部門

①小学生 ②中学生 ③高校生 ④大学生（その他：自主防災組織・NPO 等からも各部門に応募可）

■ 対象活動

- ・自然災害から命と暮らしを守るための防災教育や防災活動の取り組み
- ・応募は学校、クラス、サークル活動、ボランティア活動、地域などの単位
- ※推薦も受け付けております。みなさまの周りの防災の取り組みをぜひご推薦ください。

■ 対象期間

- ・平成 28 年 10 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日まで
- ※平成 30 年 3 月までの活動予定を含め、記入をお願いします。
- 今後の活動予定が多い学校・団体の皆様も、ぜひご応募ください。

■ 応募締切

- ・平成 29 年 9 月 30 日（当日消印有効）

■ 応募方法

- ・ホームページ（<http://npo-sakura.net/bousai-koushien/>）の申込フォームよりご応募いただくか、上記 URL より応募用紙をダウンロードの上、E-mail、F A X、もしくは郵送にてご応募ください。
- ・応募用紙は、下記の機関でも配布しております。
 - ①兵庫県復興支援課（電話：078-362-9984）
 - ②(公財)ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター(電話：078-262-5068)

■ 選考結果

- ・1.17 防災未来賞「ぼうさい甲子園」選考委員会の選考により決定します。
- ・選考の結果は事務局より応募団体へ郵送にてご連絡いたします。（12 月上旬の予定です）

<賞及び賞金について>

- ・「グランプリ」 ぼうさい大賞の中から 1 点（賞金 40 万円）
- ・「ぼうさい大賞」 各部門から 1 点（賞金 20 万円）
- ・「優秀賞」 各部門から 1 点
- ・「奨励賞」 各部門から数点
- ・「はばタン賞」：被災地にエールを送るため、被災地での経験や教訓から生まれた活動が対象
- ・「だいじょうぶ賞」：防犯活動や安心・安全なまちづくりを目指す取り組みが対象
- ・「津波ぼうさい賞」：津波避難訓練や津波対策に対する優れた取り組みが対象
- ・「教科アイデア賞」：教科教育において取り組まれた優れた防災教育活動が対象
- ・「フロンティア賞」：過去に応募がなかった地域・分野での先導的な取り組み及び初応募の優れた取り組みが対象
- ・「継続こそ力賞」：過去数年にわたり継続的に実施された優れた取り組みが対象
- ※その年の応募内容により新たな賞が作られる場合があります

■ 提出資料

- ・応募書類（必須）
- ・活動写真 3～10 枚程度（必須）（写真データの形式：jpeg、gif、bmp、png）
- ・新聞記事、団体の刊行物などの資料（任意）
- ※記載されている内容・写真は、取材・報道に使用させていただくことがあります。
- ※活動写真の一部は記録誌(応募校・団体の活動内容などをまとめた冊子)や広報等に活用します。
- ※資料は返却できません。できるだけ A 4 サイズに統一をお願いします。
- ※応募書類および資料について、データでのご提出にご協力よろしくお願ひいたします。

■ 応募書類提出先、お問合せ

- ・インターネットからのご応募：<http://npo-sakura.net/bousai-koushien/>
- ・E-mail からのご応募：bousai_koushien@yahoo.co.jp
- ・郵送での応募
〒663-8201 西宮市田代町 16-8 パルティーレ N 棟西号室
特定非営利活動法人さくらネット内 ぼうさい甲子園事務局
電話：0798-64-5829 ファックス：0798-65-5254

都道府県	兵庫県		
学校・団体・グループ名	ふりがな	にしのみやしりつさくらしょうがっこう	
	名称	西宮市立さくら小学校	
応募部門	○小学生 ○中学生 ○高校生 ○大学生（該当部門の○を●に変更してください。）		

代表者名	役職名	校長		
	ふりがな	ぼうさい はじめ		
	氏名	防災 はじめ		
連絡先	所在地	ふりがな	ひょうごけんにしのみやしたしろうちょう	
		〒663-8201 兵庫県西宮市田代町 16-8		
	TEL	0798-64-5829	FAX 番号	0798-65-5254
	e-mail	bousai_koushien@yahoo.co.jp		
担当者・窓口	役職名	教諭		
	ふりがな	みんなで まもる		
	氏名	皆出 まもる		
	TEL	0798-64-5829	e-mail	bousai_koushien@yahoo.co.jp

※担当者・窓口の方の連絡先は、団体の連絡先と異なる場合のみご記入ください。

推薦者	所属		役職名	
	ふりがな			
	氏名			
	所在地	〒		
	TEL		e-mail	

※推薦の場合のみご記入ください。

連携団体	
------	--

ぼうさい甲子園 応募歴・受賞歴	応募歴	受賞歴	応募歴	受賞歴
	<input type="checkbox"/> はじめて		<input type="checkbox"/> 平成23年	
	<input type="checkbox"/> 平成17年		<input type="checkbox"/> 平成24年	
	<input type="checkbox"/> 平成18年		<input type="checkbox"/> 平成25年	
	<input type="checkbox"/> 平成19年		<input type="checkbox"/> 平成26年	
	<input type="checkbox"/> 平成20年		<input checked="" type="checkbox"/> 平成27年	
	<input type="checkbox"/> 平成21年		<input checked="" type="checkbox"/> 平成28年	だいじょうぶ賞
	<input type="checkbox"/> 平成22年			

その他 受賞・発表歴	

実施期間	平成 28 年 10 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日			
実施地域	西宮市立さくら小学校周辺地域			
想定災害	<input checked="" type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 津波 <input checked="" type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 雷 <input type="checkbox"/> 台風 <input checked="" type="checkbox"/> 大雨・洪水 <input type="checkbox"/> 竜巻 <input type="checkbox"/> 大雪 <input type="checkbox"/> その他 ()			
参加人数 (人数のみ入力ください)	小学生	1254	教職員	72
	中学生		大人	53
	高校生		その他	
	大学生		合計	1379
	全校児童・生徒数			643

活動のテーマ (30 字以内)	防災を地域とともに考える
活動のきっかけ	平成 23 年 3 月 11 日、東日本大震災が発災した。 どこにでも起こりうる災害に対して、一人一人がどういった行動を取るべきか、学校として何をなすべきかを地域と共に考えることにした。
活動の目的	学校の避難訓練の様子を見ると、教師の指示に従って行動できる児童が多く、地震に対する備えは十分ではない。これらの実態から地域とともに命を守り、地域の一員であるという意識を持つことを目的とする。

<p>これまでの活動内容 平成 28 年 10 月以前の活動</p>	<p>平成 23 年 7 月 9 日：防災学習講演会 平成 24 年 5 月 9 日：児童引き渡し訓練 平成 24 年 7 月 14 日：防災学習講演会 平成 24 年 10 月 20 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 24 年 12 月 8 日：地域合同避難訓練 平成 25 年 11 月 29 日：地域合同避難訓練 平成 26 年 2 月 10 日：地域合同避難所体験 平成 26 年 5 月 10 日：児童引き渡し訓練 平成 26 年 10 月 8 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 28 年 5 月 8 日：児童引き渡し訓練 平成 28 年 7 月 10 日：防災学習講演会</p>						
<p>今回の活動内容 平成 28 年 10 月 ～ 平成 30 年 3 月</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="384 568 499 902">完了</td> <td data-bbox="499 568 1463 902"> <p>平成 28 年 10 月 15 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 28 年 12 月 2 日：地域合同避難訓練 平成 29 年 2 月 6 日：地域合同避難所体験 平成 29 年 5 月 6 日：児童引き渡し訓練 平成 29 年 7 月 8 日：防災学習講演会</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 902 499 1234">予定</td> <td data-bbox="499 902 1463 1234"> <p>平成 29 年 10 月 12 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 29 年 12 月 16 日：地域合同避難訓練 平成 30 年 2 月 9 日：地域合同避難所体験</p> </td> </tr> </table>	完了	<p>平成 28 年 10 月 15 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 28 年 12 月 2 日：地域合同避難訓練 平成 29 年 2 月 6 日：地域合同避難所体験 平成 29 年 5 月 6 日：児童引き渡し訓練 平成 29 年 7 月 8 日：防災学習講演会</p>	予定	<p>平成 29 年 10 月 12 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 29 年 12 月 16 日：地域合同避難訓練 平成 30 年 2 月 9 日：地域合同避難所体験</p>		
完了	<p>平成 28 年 10 月 15 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 28 年 12 月 2 日：地域合同避難訓練 平成 29 年 2 月 6 日：地域合同避難所体験 平成 29 年 5 月 6 日：児童引き渡し訓練 平成 29 年 7 月 8 日：防災学習講演会</p>						
予定	<p>平成 29 年 10 月 12 日：2・5 年生 総合的な学習（消防署見学） 平成 29 年 12 月 16 日：地域合同避難訓練 平成 30 年 2 月 9 日：地域合同避難所体験</p>						
<p>活動の中での 工夫・ポイント</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="325 1234 499 1491"> <p>地域と共に (地域性)</p> </td> <td data-bbox="499 1234 1463 1491"> <p>【地域合同避難所体験】（詳細は資料①を参照） 消防団、消防署、防災交通課にも協力をいただき、地域とともに災害について考え、備える機会となった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="325 1491 499 1749"> <p>オリジナリティ (独創性)</p> </td> <td data-bbox="499 1491 1463 1749"> <p>【防災学習講演会】 防災に関する様々な学習活動において、外部講師および協力者として活動に参加していただいている。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="325 1749 499 2002"> <p>子ども達の 自発的な 活動 (自主性)</p> </td> <td data-bbox="499 1749 1463 2002"> <p>【児童引き渡し訓練】（詳細は資料②を参照） 防災に関する知識を高めたり、体験活動によってより実践力を高めたりする。 児童一人一人が突然の災害に備え、「自分の命は、自分で守る」という心構えをもち、行動できるようにする。</p> </td> </tr> </table>	<p>地域と共に (地域性)</p>	<p>【地域合同避難所体験】（詳細は資料①を参照） 消防団、消防署、防災交通課にも協力をいただき、地域とともに災害について考え、備える機会となった。</p>	<p>オリジナリティ (独創性)</p>	<p>【防災学習講演会】 防災に関する様々な学習活動において、外部講師および協力者として活動に参加していただいている。</p>	<p>子ども達の 自発的な 活動 (自主性)</p>	<p>【児童引き渡し訓練】（詳細は資料②を参照） 防災に関する知識を高めたり、体験活動によってより実践力を高めたりする。 児童一人一人が突然の災害に備え、「自分の命は、自分で守る」という心構えをもち、行動できるようにする。</p>
<p>地域と共に (地域性)</p>	<p>【地域合同避難所体験】（詳細は資料①を参照） 消防団、消防署、防災交通課にも協力をいただき、地域とともに災害について考え、備える機会となった。</p>						
<p>オリジナリティ (独創性)</p>	<p>【防災学習講演会】 防災に関する様々な学習活動において、外部講師および協力者として活動に参加していただいている。</p>						
<p>子ども達の 自発的な 活動 (自主性)</p>	<p>【児童引き渡し訓練】（詳細は資料②を参照） 防災に関する知識を高めたり、体験活動によってより実践力を高めたりする。 児童一人一人が突然の災害に備え、「自分の命は、自分で守る」という心構えをもち、行動できるようにする。</p>						

	<p>活動を 一過性に しないための 工夫</p> <p>(継続性)</p>	<p>【防災環境の充実・地域との連携】</p> <p>児童会・委員会活動、学校行事等、学校教育全般において、年度が変わっても計画的かつ継続的に防災環境を整えている。また、地域の諸団体と互いに連携し、協働することで、毎年活動を継続、深化させることができています。</p>
<p>活動の成果</p> <p>(子どもやクラス、地域の変化 は見られたか)</p> <p>その他アピールしたい点</p>		<p>○命を大切にする気持ちを育むことにより、日常生活の場面でも、他者に優しくしたり、協力して物事に取り組んだりすることができた。</p> <p>○地域の各種関係機関と連携を図りながら、授業や様々な活動を展開することができた。地域に元々存在した資源と学校教育を結びつけることで、双方のよさを発揮することができた。地域との結びつきをより強固なものにすることができた。</p>

【記録誌掲載ページ内容の記入のお願い】 ※必須

毎年度、全応募校の活動を紹介する“ぼうさい甲子園”記録誌”(A 4 版冊子)を作成しております。

記録誌掲載内容について、以下の項目をご記入ください。ご記入いただいた内容がそのまま記録誌に掲載されますので、お書き間違いのないよう、ご注意ください。

全国に各学校の取組発信をしたいと考えております。よろしく願いいたします。

★以下 4 項目で 500 文字以内(項目の文字数も含まます。項目を減らし 3 項目での記入も可)

<目的・きっかけ>

- ・どこにでも起こりうる災害に対して、一人一人がどういった行動を取るべきか、学校として何をなすべきかを地域と共に考えた。
- ・地域とともに命を守り、地域の一員であるという意識持つことを目的とする。

<活動内容>

- ・児童引き渡し訓練、防災学習講演会、2・5 年生 総合的な学習、地域合同避難訓練、地域合同避難所体験を地域にも協力をいただき、地域とともに災害について考え

<活動の成果>

- ・命を大切にする気持ちを育むことにより、日常生活の場面でも、他者に優しくしたり、協力して物事に取り組んだりすることができた。
- ・地域の各種関係機関と連携を図りながら、授業や様々な活動を展開することができた。地域に元々存在した資源と学校教育を結びつけることで、双方のよさを発揮することができた。地域との結びつきをより強固なものにすることができた。

<活動の工夫・ポイント>

- ・防災環境の充実・地域との連携を図るため、児童会・委員会活動、学校行事等、学校教育全般において、年度が変わっても計画的かつ継続的に防災環境を整えている。また、地域の諸団体と互いに連携し、協働することで、毎年活動を継続、深化させることができています。